

スキャナ方式デジタル顕微鏡「SCAMERA-MID-SCOPE」開発 発表 (スキャメラ・ミッドスコープ)

2006年11月29日 ニューリー株式会社

ニューリー株式会社(代表取締役社長 井田敦夫)は、微細、微小サンプルを高画質で読込める独自スキャナ、スキャメラ・スコープシリーズの上位版で、6400dpi(分解能4ミクロン)のリアル光学解像度で、12800dpiの超高解像出力(分解能2ミクロン)を持つ、スキャナ方式デジタル顕微鏡「SCAMERA-MID-SCOPE」(スキャメラ・ミッドスコープ)を12月6日から開催される'06国際画像機器展に出展し、発売開始することを発表します。

■用途(微細、微小サンプルのデジタル化、解析向けとして広範囲に活用できます。)

1. 基板微細表面実装部品の表面実装検査
2. 極細フレキシ基板表面疵検査
3. 35mmフィルムスキャンのデジタル化
4. メディカル(生体細胞)向けプレパラートサンプル画像解析
5. 衛生研究所向け(花粉・ウイルス)プレパラートサンプル画像解析



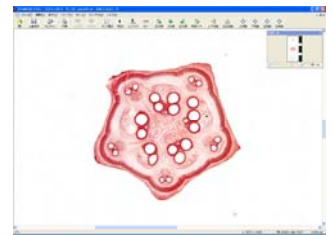
<スキャメラ・ミッドスコープ本体>

■特長

1. 40ミリ幅×70ミリ長の読取りエリア(プレパラート約4枚分)が、最高出力解像度12800dpi(2ミクロン分解能;500本/mm;20,000×35,000=7億画素)でデジタル化ができます。
2. 光学歪;レンズ(主走査画像)仕様=0
;主走査画像に湾曲ひずみがない
3. オートフォーカス機構で高さ20mmまで自動調整ができる。
4. 超高速ビューソフト「スキャメラ・アイズ」で、リアルタイムズーム&スクロールができる。
・約90倍(ディスプレイ72dpi換算)の拡大率
・リアルタイム3200%~10%デジタルズームIN/OUT



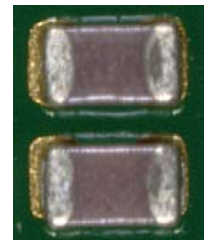
<原稿テーブル>



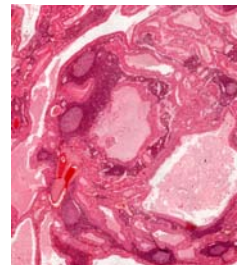
<スキャメラアイズソフト画面>

■仕様

- ・スキャン方式;光学ヘッド固定による原稿移動方式
- ・イメージセンサ;3ラインCCD/1PASSカラーキャン
- ・読取りサイズ;40mm幅×70mm長
- ・原稿テーブル;139mm×145mm
- ・光学/出力解像度;6400dpi/1600~12800dpi
- ・スキャン速度;30秒/10mm
- ・階調性;8BIT:ビットシフト機能あり/16BIT量子化
- ・光源;白色LEDアレー×3(反射×2/透過×1)
- ・オートフォーカス;レーザー測長によるZ軸移動方式
- ・高さ(Z軸);20mm
- ・インターフェース;USB2.0
- ・ドライバーソフト;超高速ビューソフト「スキャメラ・アイズ」付属
- ・外形;358(W)×700(D)×488(H)
- ・重量;約49kg



<0402抵抗チップ>



~~~~~本件に関するお問合せ先~~~~~

ニューリー株式会社 〒613-0031 京都府久世郡久御山町佐古外屋敷125

Tel:0774-43-3011 /Fax:0774-44-9288 /URL: <http://www.newly.co.jp>